

留学報告書 II (2023 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾普通部 2 年
留学先校名	Eaglebrook School
留学期間	2023 年 9 月から 2024 年 5 月まで

留学を振り返って

留学先では、期待どおりの生活を過ごせましたか？（留学先の良かった点・悪かった点も教えてください。）

留学先の Eaglebrook School では、期待をはるかに超えた生活を過ごすことができました。

私がまず感動したのは Eaglebrook の広大なキャンパスの様々な設備でした。東京ドーム 70 個分以上の広さを持つキャンパスには幾つものフィールドや競走用トラック、テニスコート、ジム、ウェイトルーム、プール、ホッケーリンクなど多くの施設がありました。中でも驚いたのはリフト付きのスキー場があったことです。冬には沢山雪が降り、よく友達とスキーを楽しみました。校舎内には Innovation Lab という生徒が使えるコンピューターやレーザーカッター、3D プリンターが設置されている場所やバンドルーム、幾つかのピアノルームもありました。このように、幅広いことに挑戦できる機会を与えてくれる設備が揃っていました。

また、Eaglebrook の教育システムには私が今まで経験したことのない新たな世界がありました。授業は全て 3～13 人の生徒と少人数クラスになっており、インタラクティブな授業を通して他の生徒や先生と密接に関わり学ぶことができました。そして生徒は様々な分野やレベルのコースから授業を選べ、選択科目の種類も豊富でした。自分の学びたいことを自分で決めることができるのは、授業により興味を持って学習することに繋がりました。

さらに、寮生活では色々な経験をしました。寮には 40 人弱の生徒が住んでいました。スケジュールは毎日はっきり決まっており、課題や洗濯物など基本的に自分のことは全て自分で管理し、常に時間を考えて行動する必要がありました。沢山の人々と共に暮らしていると賑やかで楽しい一方、自分の好きなように過ごせるとは限りませんでした。綺麗好きだった私は公衆の bathroom の衛生面に初めは戸惑いました。また週末の朝や夜など静かにすべき時に騒がしい場合もあり、自分がより過ごしやすい方法を模索することもありました。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

Eaglebrook では、学期が変わるごとに選べるスポーツも変わり、私は秋にアメリカンフットボール、冬にアイスホッケー、春に陸上を選択しました。どれも経験したことのないスポーツでしたが、それぞれで新たな刺激を受けました。

スポーツ以外にも様々なイベントがあり、興味のあるものには次々と挑戦しました。

冬には Hot Chocolate Run という 5 キロのマラソン大会が近くの Northampton で開催されました。

Eaglebrook からは 10 人参加し、大雨の中走りました。このイベントは家庭内暴力に取り組む Hampshire の団体 Safe Passage の募金活動として行われ、約 79 万ドルが資金として集められました。

また、AMC 8 や Exeter Math Competition など、色々な Math Competition にも参加しました。4 月末にあった Deerfield Math Competition は Deerfield Academy で開催された大会で、Eaglebrook からは 15 人参加しました。個人戦とチーム戦がそれぞれ 2 ラウンドずつあり、ひたすら問題を解きました。問題は数学というよりは算数

に似ており、解いていて楽しかったです。最終的に私は個人戦で3位となりました。5月中旬には **Eaglebrook Math Competition** が学校で開催されました。こちらも同様に個人戦とチーム戦があり、個人戦では総合2位、チームでは総合1位を獲得することができました。このような数学の大会に挑戦したのは今回が人生で初めてだったので、これも一つの新たな経験でした。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

どの授業も日本と比べると思考力を養う訓練をより重視しており、周りとの意見を共有し共に考えていく形式での学習でした。ライティングやプロジェクト、プレゼンテーションなど自分の考えをアウトプットし表現する能力を必要とする課題に沢山取り組みました。また、それらを頻繁に発表し生徒、そして先生とも密にやり取りを行いながらクラス全体で進めていくという方針でした。

5月末に **Year End Awards Assembly** という様々な部門における優秀賞授受の会では、一年を通して成績が優秀だった生徒に贈られる **Honorable Mention** に選ばれました。また、**Visual Arts** (芸術) 部門でも選ばれ、賞状を貰いました。

今後について

この派遣留学を通して、自分自身にどのような変化があったと感じていますか。

私はこの **Eaglebrook** の生活を通して、以前と比べてより意欲的になったと感じます。留学の初めは新しい生活環境に馴染むことに一生懸命で、あまり余裕がありませんでした。しかし、多くの生徒に触れることにより様々なことに挑戦したい気持ちが芽生えました。 **Eaglebrook** にいる間にしかできない数々の貴重な機会を逃すのは実に勿体ないと考え、興味のあるイベントには次々と参加しました。

さらに **Eaglebrook** で中国語を学び始めたり様々な国(言語圏)から来た友達と関わることで、もっと色々な言語を知りたいと思うようになりました。また、ルームメイトや友達が楽器を演奏している姿を目にし、私も楽器を演奏してみたいと触発されました。 **Eaglebrook** では叶いませんでしたが、帰国後普通部の選択授業でクラリネットを始めることに決めました。

また、コミュニケーションを取って自己主張し自己弁護する能力が伸びたと思います。日本にいた時から私は比較的静かな生徒で、自己主張も控えめでした。意見が衝突したらその場をできるだけ丸く収めるために自分から譲ったり、相手を優先することがよくありました。また、相手が今どのような感情で何を思っているのだろうと考えて行動することもありました。そのお陰で周りの友達や先生からはとても優しいと言われていましたが、このような行動によって時には自分が不満を抱いたり腑に落ちなかったりすることもありました。この状況を改善する為に私は彼らと直接話をしたり、他の友達や先生に相談しました。これを機に自分の立場を守るために自己主張する大切さを学びました。また、主張するためには上手に状況を説明し意見を伝えるコミュニケーション能力が大事だと気付きました。それからは相手に配慮しつつ以前よりも自己主張をするようになり、精神的に強くなったと思います。

今後の派遣留学生へのアドバイス

まず、日本についてよく理解して紹介できるように準備しておくといいと思います。ボーディングスク

ールには世界中の国から生徒が集まるので、お互いの国や価値観の違いを学び刺激を受け、自分の視野を広げることに繋がります。自分が他の国についての疑問が次々と思いつかぶ一方で、周りの生徒も日本に興味があり質問をしてくるのが頻繁にあります。なので、私は留学する前から日本のことについての本を読み始めていました。その甲斐あって日本について質問された際は、大抵のことは自分の言葉で説明し紹介することができました。

例えば、友達や先生との間では日本食の話が多かったです。他にも戦闘機や兵器に興味がある友達が割といたので、雑談で第二次世界大戦の話題が挙がることもしばしばありました。中には過去に日本史を学んだことがある友達もいて平安時代や江戸時代を知っていたり、徳川家康や織田信長について話すこともありました。なので、日本史も復習すると良いかもしれません。日本を大好きな方は沢山いるので、是非日本文化の素晴らしさを伝えられるように用意しておくことを推奨します。

また、留学生活も初めは全てが新しく、慣れていくことに苦戦することもあるかもしれませんが、それは誰しもが経験することだと思います。また、人生のこの段階で留学できることはかなり貴重な素晴らしい経験なので、とにかく挑戦してみたいと思ったものにはどんどん手を出して行って下さい。本当にあっという間の9か月ですので、過ごしている時間を大切に、そして何より精一杯楽しんで下さい。

